

議会だより



No. 95
平成26年1月31日
発行 大分県日出町議会
電話 0977-73-3135

題字は大神小6年 えとう 江藤 みさ 瑞紗 さんです



目次

●補正総額1億1628万円.....	2
予算常任委員会	
議会改革調査特別委員会	
陽谷駅周辺整備対策特別委員会	
●常任委員会.....	4
総務委員会・産業建設委員会・社会厚生委員会	
●9人が町政全般を質す.....	6
一般質問	
●町民の声.....	16

12月定例会



議員が編集した手づくり議会だよりです

祝 新成人「そうだ! 選挙に行きます」

議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

平成25年 12月定例会

12月定例会は、12月5日から20日までの会期で開催されました。

初日の本会議では、町長から行政報告の後、議案に対する提案理由の説明が行われ、補正予算や条例改正など発委1件、議案5件を16日間にわたり慎重に審議しました。

全議案とも全会一致で可決し、また、請願1件を採択し国に対して意見書を提出します。その他、陳情1件を審査の結果採択しました。

一般質問は9人が登壇し、町政についてそれぞれ当局の所信を質しました。

また、今回の水道水源保護条例の全部改正は、産業建設委員会からの発議で、1年かけ準備から作成提案まで委員会で行った当議会初の条例改正です。

予算委員会

補正総額1億1628万円で、補正後の予算総額は94億5810万円です。

【主な歳出】

障がい者支援

福祉サービスの利用者増加による障がい者介護給付費や障がい児通所支援給付費の増額します。

3387万円

小型電子機器回収

携帯電話や小型ゲームなど家電製品は現在、燃やさないごみとして処理されていますが、部品(基盤)に含まれるレアメタルを資源として有効利用するため、使用済小型家電リサイクル事業を実施します。回収ボックスを公共施設8箇所に設置する予定です。

1355万円

「回天」レプリカ

戦争遺産を後世に残し、生命と平和の尊さを多くの方々知ってもらうために人間魚雷「回天」のレプリカを作成します。

650万円

保育士の処遇改善

待機児童解消に伴う保育士の人材確保を促進するため、保育士の処遇改善に取り組み保育所へ資金を交付します。該当する保育園は8園、入所児童数で交付金額が決まります。

1350万円



保育士のやさしさと笑顔が子どもたちの心に

児童虐待の防止

ネグレクトを含む児童虐待やDV防止のため普及啓発や支援活動を行っています。プライバシー保護のための家庭

訪問車両を購入します。

119万円

農地災害に補助

梅雨前線豪雨と台風17号の農地災害、農業用施設の災害復旧費。

546万円

教育施設の充実

藤原小学校正門整備費や中学部活動の九州大会出場補助金、中央体育館の施設改修費など。

1143万円

議会改革調査 特別委員会

議会基本条例の制定へ

住民の付託にこたえず、開かれた議会を目指し、議会基本条例の制定に向け、先進8市町の基本条例の検証を行いました。また、2委員会制への移行や制定へのスケジュールを確認し、議長に報告。今後全員協議会に回り承諾を得た後、必要な条例や規約の改正を行うこととなります。

陽谷駅周辺整備対策 特別委員会

高校グラウンド跡地活用

陽谷駅・高校跡地活用審査委員会での意見について報告を受けました。

- ・日出町の一等地であり公共複合施設を要望
- ・地元商業者への配慮
- ・別府市からも客が来るような魅力あるテナント
- ・託児所の設置
- ・建物デザインの工夫



誘致を検討中のグラウンド部分

現在リース会社から商業施設誘致の提案を受けています。

周辺整備事業

陽谷駅周辺整備の全体投資額が明らかになりました。総額7億5千万円で、自由通路は4億5千万円の予定です。国からの補助は40～50%を見込み、全体の完成は28年3月を予定しています。

- ・議員から次のような質疑・要望が出されました。
- ・リース業者が想定しているような売上額、来場者数が本当に見込めるのか
- ・図書室や町民ホールなどを併設する複合施設の検討
- ・近隣にない若年層が望む飲食店やテナントの誘致

陳情・請願を採択し 国に意見書提出

重要5品目の堅持

べつぶ日出農業協同組合
代表理事組合長 伊藤秀憲
氏提出の「TPP決議実現

を求める請願」を採択。
意見書主旨

政府は現在、TPPの年内妥結に向け、関係各国との協議を重ねています。しかし、秘密保持契約のもと、いまだ交渉内容は国民に開示されず国民的議論もなされていない状況です。

この協定が妥結した場合、国内農業・農村が壊滅的な打撃を受けることは明らかで、生産者は将来の農業経営に大きな不安を抱えています。重要5品目の関税撤廃が除外できない場合には即時交渉から撤退する、交渉内容を開示するなどの国会決議を実現するように政府に強く求めるものです。

町民文化ホールの建設

日出町文化協会会長
後藤貞雄氏提出の日出町文化ホール建設を求める陳情を採択。

陳情趣旨

近年、文化団体ばかりでなく、各分野の団体が



老朽化が進む中央公民館

広域的に連携し、それぞれの活動の幅も広がりつつあります。大規模なもので、600人参加の大会や諸行事が開催されていますが、対応可能な公的施設は中央公民館しかなく、収容人数も300人程度で、老朽化も進み、耐震や設備も十分とはいえません。町の発展と文化振興のため、多目的機能を持つ600～800人収容規模の文化ホールの建設を強く要望します。

常任委員会

総務

開会中の審査

発電施設の指導要綱

日出町内における再生可能エネルギー源を活用した大規模な発電施設(設置場所の合計面積が5000㎡を超えるもの)の設置に關し必要な事項を定める、日出町発電施設設置事業指導要綱を制定し、26年1月1日から施行します。

豊後豊岡駅の無人化

JR九州より、現行の委託運営をしているが、26年7月1日で完全無人化予定になる旨の申し出がありました。

協働指針(案)の意見募集

日出町における協働の取り組みについての最終原案がまとまりました。多く

の方々の意見を反映させるため募集します。

閉会中の審査

10月28日開催

メガソーラー建設計画地

9月議会で建設反対決議をした、藤原西部地区に計画さ



地域づくりの拠点はどうなるの

れている計画地の現地調査を実施しました。地元区長の説明で、下流域の河川や住環境に多大な影響が出る恐れがあることを確認しました。

また、豊岡地区の柏川と西区の町有地にも大規模発電施設の設置計画がある旨の説明を受けました。

ふれあいセンターの運営

25年度当初から運営面の審査を続けていますが、予算の関係もあり所管課の見直しなどを含めて年度末までに結論を出すことで継続審査としました。

産業建設

議案の審査結果

工事委託に関する協定の締結

公共下水道浄化センターの

汚泥処理施設・ボイラー棟基礎工事を「日本下水道事業団」と1億7650万円で契約しました。高額な請負額であり、入札の透明性などを確認しました。

開会中の審査

日本テキサス相談窓口

再就職先がまだ決定しない人は250名ですが、テキサス自体が年内に完全撤退し、相談者もいないことから、窓口を年内で閉鎖します。

農業委員の選挙

今年7月に実施されますが、国から女性委員の登用を求められています。県内で不在なのは当町と姫島村だけです。議会にも協力を求められました。

水道水源保護条例の改正

豊岡地区の「出ル水」は上水道の半分近くを供給する貴



日出町の恵みの水です

重な水源であり、地域の方の努力によって永年大切に守られてきました。しかし、近年有害物質を排出する施設や大量取水を目的とする外国資本の進出などが懸念されています。そこで、その町民の大切な財産である水源を保護するために議員の発議で改正をしました。

主な内容は「産業廃棄物処理場」の設置の禁止、大量取水の制限、罰則の強化です。作成にあたっては担当課、顧問弁護士、検察庁の意見を参考にしました。

閉会中の審査

11月8日開催

的山荘利益繰入金

指定管理者の(株)まるひで「との契約で、経常利益の10%を町に繰り入れる条件から、24年度決算で11万円が納められました。

社会厚生

開会中の審査

健康保険税の資産割廃止を検討

県内でも資産割を賦課している自治体は日出町を含め3町村だけということもあり、廃止を検討しています。一部の方を除き、ほとんどの方が減額となる見込みです。

地域見守りネットワーク

新聞配達や宅配便、金融機関の方たちに見守り協力事業者となってもらい、気がついたことがあれば「連絡」「通報」「相談」を行います。

コミュニティスクール

保護者や地域住民が一定の権限と責任を持つて学校運営に参画する仕組みで、学校運営に関する意見を教育委員会や校長に述べることでできます。26年度、大神中学校で実施します。

閉会中の審査

11月5日開催

教育委員と活発に意見交換

中央公民館のホールと駐車場が非常に手狭であること、学校給食センターは、運営の一部を民間に委託したものの、建物自体が老朽化をしていること、また萬里図書館も蔵書の増加により、閲覧場所が手狭であることや駐車場の不足など、多くの課題を抱えています。いずれも、新たに建設すれば解決できることですが、そうになると建設場所



課題解決に向けた意見交換会

や多額の建設費が必要となるので、これらの課題については町全体で議論し、検討していかねばならないというのが共通の意見でした。

また、来年度、南端小学校には生徒がいなくなり、中学生は計2名となることから、存続の危機に面している問題についても、どういう形で残していくのか議論が交わされました。

◆ 9人が一般質問 ◆

- 1 後藤 佑 議員**
 1. 学校教育
- 2 土田 亮治 議員**
 1. 町営上水道以外の水道
 2. 空き家・空き地・空き農地の対策
 3. 消防団
- 3 佐藤 克幸 議員**
 1. 学校に冷暖房施設を設置
 2. TPP 締結以後の一次産業
 3. 中心地以外開発の遅れている地域の活性化
- 4 熊谷 健作 議員**
 1. 障がい者への福祉施策
 2. 学校給食は民営化によってどこが変わりましたか
 3. 観光の活性化
- 5 佐藤 隆信 議員**
 1. 農業公社設立
 2. なんでも相談室
 3. 中学卒業まで医療費無料化
- 6 藤井 博幸 議員**
 1. ふるさと寄附金
 2. 地域福祉計画
 3. 健康づくり推進活動
- 7 森 昭人 議員**
 1. 26年度予算と財政状況
 2. 南端小中学校の現状と今後の運営
 3. 太陽光発電設置に関する基本的な考えと今後の対応
- 8 池田 淳子 議員**
 1. 乳がん・子宮頸がんの無料クーポン券による検診
 2. 虫歯予防にフッ化物の活用
 3. 観光客集客のための施策
- 9 工藤 健次 議員**
 1. 総合型地域スポーツクラブ
 2. イベント実施時の駐車場
 3. 日出町環境保全条例

一般質問

町政を問う

12月定例会では、9人の議員から町政全般について、2日間にわたり活発な議論が展開されました。

一般質問

町政を問う



後藤 佑 議員
(藤原地区)

問 新しい視点で教育を

答 3つの目標を掲げます

問 教職員出身以外の方が、教育長に就任されました。町長の期待度が、非常に「大」です。抱負をお聞きます。

教育長 21世紀は少子高齢化、人口減少社会であり、社会経済もグローバル化しています。物づくりだけでなく世界に通用する人づくりが大切であり、21世紀は教育の時代といえます。行政経験を十二分に生かして、次の3つの視点で業務を遂行します。

最初は、現場主義です。子どもや地域住民のために、教育行政の責務を果たすことを基本に据え、保護者や住民などの現場の声に耳を傾けます。

2つ目は、時代の変化に呼

応した政策決定です。前例踏襲を排除し、ゼロから見直して行く事が重要だと考えています。

3つ目は、専門性と組織の連携。プロフェッショナルとして教育の各分野に専門性を培い、この時代を乗り切る知恵を見つけ出し、関係機関との緊密な連携も図っていきます。

社会教育の分野では、公民館活動に加えて伝統芸能の継承など、意欲的に活動する人材の掘り起こしにも取り組めます。地域に根ざした開かれた教育行政を施行します。

問 教職員の異動期間が短いと言われています。そのため腰を据えて取り組みができないと思います。現場と議論があ

りましたか。

教育長

管理職、教務主任などの異動は、学校業務方針が定着するまでの期間、3年は必要だろうと思えます。3年以上の異動期間を県教育委員会に強く要求していきたいと思えます。

問

3学期制の学校が授業時間数不足のため、夏休みの短縮を検討しています。町は2学期制なので不足時間はないと思いますが、いかがですか。

教育長

16年から実施しています。授業時間の確保が、最大の目的でした。標準授業時間数の実施率は、小学校で107%で、中学校で105%と上回っています。したがって、当町では、夏休みの短縮は考えていません。

問

小・中学校の体力測定は、



体力向上につながる取り組みを

どのような結果ですか。

学校教育課長

体力、運動能力調査の結果は、8種目中、ボール投げ、反復横とびが県平均を上回っています。学校現場も体力低下や運動離れには、危機感を持っています。各学校で、体力向上プランをつくり、運動の日常化を目指し、子どもたちの体力、運動能力向上に向け取り組んでいます。



土田 亮治 議員
(藤原地区)

問 町営以外の水道の町営化編入を

答 すぐに編入は難しいです

問 飲料水供給事業の補助金制度を利用した集落地域はどのくらいありますか。また、この補助金は新たに設置する場合ですか。

生活環境課長

現在まで7地区、71戸の世帯が利用しています。補助金は想定上、新設、改修などの区分けはされていませんが、重要な施設・部分については利用できると考えています。

問

水道は重要なライフラインです。町営水道への編入、給水地域の拡大を考えてもらえませんか。

上下水道課長

諸課題のある中で、即時町営水道への編入拡大は難しいかと考えています。



おいしい水を大切に（地域水道組合のポンプ施設）

空き家・空き地・空き農地の対策は

問

空き家バンク制度の実績はどうなっていますか。

政策推進課長

契約家は1組です。登録物件が少なく推進中です。

問

町内ではソーラー発電設備の設置が続いていますが、空き地などの有効活用策を考えていますか。

農林水産課長

基本的に農地は農地としての利用を最優先に考え、対策を講じたいと考えています。

問

空き家・空き地管理に関する苦情などはありますか。

生活環境課長

空き地管理の相談が年間40〜50件寄せられます。

政策推進課長

空き家管理の苦情はありませんが条例制定を検討しています。

消防団と自主防災組織の現状は

問

現在の団員数で充

分か、また平日の有事の際、招集可能な人員で対応できますか。

総務課長

他市町村の確保状況からみれば充分だと考えます。平日有事の際は、団員の3〜4割と消防署員・町職員などの動員で何とか対応できると考えています。

問

自主防災組織の現状と今後の対策、育成面での取り組み、避難訓練の実施予定をお聞きます。

総務課長

全行政区で自主防災組織を結成しており、防災訓練は現在海岸線地区を予定しています。育成面では約100名が防災士の資格を取得、今後も資格取得の支援を行い、組織の活性化を図りながら地域防災力の向上に努めます。

※その他「人口3万人を目指す取り組み」についての質問がありました。



佐藤 克幸議員
(大神地区)

問 小・中学校の各教室にエアコン設置を

答 一挙には無理、計画的に実施します

問 私が子ども頃の頃の猛暑は30度でしたが、現在は体温を上回る酷暑です。町長は教育に多くの予算を計上しているといいますが、学校の耐震にお金を使うことは行政の義務だと考えます。どうか子どもたちがすばらしい環境のもとで勉強できるように各教室にエアコンの設置を要望します。

教育長 子どもたちの安心・安全の確保を最優先に教育環境の整備を進めています。財政的な制約があるものの早い時期に整備できるように計画的に実施していきたいと考えています。

町長 基本的に住民の皆さん方

の福祉や医療、サービスを徹底的に追求しています。それと同時に学校を含めて環境をしつかり整備し、支えていくことが、私の基本的な考え方です。一挙に予算計上は無理ですが、今後十分ご意見を参考にし、配慮していきたいと思えます。

衰退する農・漁業にTPPが追い打ち

問

日出町の農家も高齢化が進み、別府市の台所と言われる野菜の産地も消えました。減反で農家は減り、農地は荒れて、生産能力は低下しています。漁業では近年漁獲量も減り、原油の高騰で漁業者が消えていっています。1

次産業が衰退しているなか、

TPPによって追い打ちをかけるのではないかと考えますが。

町長

重要5品目の関税の引き下げは認めないよう願っているところで、具体的には国の制度の中で動いていることなのでどうこうできませんが、関係者の方々の意向を十分に踏まえた上で町政を推進し、可能な限り対策を講じていきたいと考えています。

大神・南端地区に積極的に予算を

問

日出地区に隣接している川崎、藤原、豊岡は放っておいても予算がつき込まれて開発された地域で、一番きついのは南端と大神です。平等な町政と予算配分が必要だと考えますが。



酷暑対策としてエアコンがほしいな！

町長 日出町の発展は中心市街地のみで成り立つものではありません。周辺地域が特性を生かし、地域の力を発揮してこそだと考えています。

地形的な条件がかなり影響することは確かですが、行政の立案能力にかかっています。そこに住む方々がどういう地域づくりをするかを話し合い、住民主体とする活動には、積極的に支援、協力していきたいと考えています。



熊谷 健作 議員
(豊岡地区)

問 障がい者への町独自の施策は

答 特段ありません

問 バリアフリーの全体計画は、
都市建設課長

新規の建設事業は取り入れていますが、既存の道路、施設は実現できていません。計画もありません。

問 障がい者の職員採用は、
総務課長

庁舎内の環境整備や減員などで難しいです。

問 わずかな予算と町長の指示でできるのではないですか。

町長 車椅子が動けるスペースが無く、現状では困難です。

問 別府市が制定した「障害のある人もない人も安心して暮らせる条例」を作る考えは。

福祉対策課長 別府市の条例の実効性を見極めていきたいと思えます。

学校給食の民営化

問 何が変わりますか。

給食センター所長

調理員が3名増え、作業効率が向上し、ふそろいの野菜も使えるようになり、手作り料理も増えました。配送車も一台増車し、より温かい状態で提供できるようになります。

問

米、小麦から冷凍品まで多くの食材を学校給食会から購入していますが、そのメリットは。また米の調達先は。

給食センター所長

多くの種類の安全で良質な食材を適正な価格で安定的に

確保できることです。また米は、100%日出産だと思えます。



大分県学校給食会（ホームページより引用）

観光協会の会長職

問 民間の方に委ねては。

町長 観光協会が予算面で自立できていないのが現状です。今後は民間に移譲していくのが望ましいと思えます。

証明書自動交付機

問 夜間や土、日曜祝日の住民票などの交付を可能にするために導入しては。

住民課長

導入にはシステム構築に係る費用と保守管理に多額の費用がかかり、全国で6分の1の自治体にしか設置されていません。

また、マイナンバー制度が開始されると手続きが大幅に簡素化されます。

問 職員の負担軽減になるので

は。

住民課長

紙詰まりやセキュリティの対応が必要となります。

質問を終えて

障がい者の親亡き後対策を役場全体で真剣に考えて頂きたい。



佐藤 隆信 議員
(大神地区)

問 町の農業推進策は

答 基盤整備を考えます

も推進します。

問 消費拡大計画は。

農林水産課長

町内消費が大切であり、直売所向けの野菜の生産を増やす試みを行っていききたいと考えています。

農業公社設立を

問

農業施策は人と組織が必要です。農業全般を見ることのできる公社設立を。

町長

中学校卒業までの医療費の無料化を

問

現在、未就学児の医療費と小中学生の入院費が無料となつていますが、中学生まで無料にすると財政負担は。

福祉対策課長

24年の国保医療費の実績でみて、小学生まで助成拡大すると2800万円、中学生まで3600万円ほどの財政負担が必要となります。

問

若い人たちが望んでいるのは、医療や保育、教育の充実です。中学生まで医療費を無料にする考えはありませんか。

町長

財政状況を考えると、4千万近い固定経費は検討に値します。負担ゼロか500円がいいのか、乱診療にならないかなど、引き続き議論していきたいと考えています。

問

政府はTPPに参加しようとしています。町の農業がどうなるのか不安です。現在、町の農業生産額は。

農林水産課長

米やハウスみかん、畜産など生産が落ち込んでいるので既に40億円を切っている状況と推測しています。

問

新規就農者育成のため、トマト、キュウリの学校設立を

農林水産課長

技術習得には1、2年の研修が必要です。就農場所や家の確保など体制が不十分と考えていますが、前向きに検討していきます。

問

休耕地の作付けやTPPに

対しての稲作対策は。

農林水産課長

高齢者でもできるような推進品の選定や消費拡大に向けた販路の確保が必要であると思つています。稲作は、地域の中で担い手を見つけるのが一番ですが、飼料米や野菜への転換することも必要であると考えています。

問

専業農家と後継者作り対策をどう考えていますか。

農林水産課長

一世帯あたり400万円を所得目標に、生産者を含め、関係機関と努力しながら施策を考えていきます。ブランド品や加工品づくり



担い手を見つけ地元で愛される農産物づくり(トマトハウス)



藤井 博幸 議員
(日出地区)

問
ふるさと寄附金お礼
の見直しを

答
高額な品物でのお礼
は自粛します

問

ふるさと寄附金が最近、テレビや新聞で話題です。寄附金の半額程度の特産品がもらえると好評のようですが、観光や産業振興にも寄与できる大変良い企画だと思います。他の事例を参考に見直しをしませんか。

総務課長

ふるさと寄附金は、地方間格差や過疎など減収に悩む自治体に対し、格差是正推進のために構想された制度で、平成20年に創設されました。事務手続きの煩雑さから、寄附金が5千円についてはお礼状だけ、高額な寄附金は、町の特産品を贈っています。ふるさと日出町の施策などをご理解、賛同いただきながら寄附

金を少しでも増やすような方を検討していきます。

地域福祉計画

問

みんなに優しい地域づくりの推進とボランティア活動の活性化への取り組みは。

福祉対策課長

見守り活動や医療キットの配布を行ってきました。またサロンづくりや子育てグループ立ち上げを計画し、宅配業者や検針業者と協定を結び、地域見守りネットワークを実施していきたいと考えています。

問

担い手確保についての助言や援助は、どのように考えますか。

福祉対策課長

ボランティアコーディネーターの配置や養成講座を開催し、相談支援および技術提供可能な人材の登録をして、地域活動に役立てていきます。

問

活動の費用は。

福祉対策課長

助成金制度はありませんが、現行制度を見直し、活動の促進につながるよう、今後、予算措置をしていかなければと思っています。

健康づくり推進活動

問

活動の成果と今後の取り組みは。

健康増進課長

健康づくり推進協議会の講演会や地区で多くの参加者があり、意識の啓発に寄与していると思います。認知症予防教室や転倒骨折予防教室を継続していきけるよう、保健師の派遣と人的支援を行います。



推進員の皆さんのおかげで元気です

問

健康づくり推進員に謝礼としては。

町長

委嘱している皆さんへ感謝状や記念品を差し上げるのは当然で検討します。

質問を終えて

ヒットのヒントは参考に



森 昭人 議員
(日出地区)

問 テキサス撤退の財政に与える影響は

答 数年前から大きく影響していません

問

人口は伸び悩んでいる中、町の発展、また人口減少に歯止めをかけるためには、定住人口増加施策を含めた思い切った新規事業が求められています。26年度、町独自の新規事業や新たに国、県の事業に上乘せでサービスする事業を考えていますか。

町長

町の展望を考え、職員も財政状況が厳しいから予算を出さないということではなく、積極的に新しい事業を展開して、住民福祉を貢献する奉仕の姿勢をはっきり打ち出すよう指導しています。新規事業は、予算編成時期の半年、1年かけて考えるように指導しているところです。

財政課長

生活環境基盤整備による定住人口の確保、自然や歴史、資源を生かした地域経済の活性化、子育て支援や教育の充実、安心・安全のまちづくりについて、それぞれ新たに事業を考えています。

問

テキサス撤退で財政状況に不安を持ち、多額の予算で計画されている陽谷駅改修に懸念を抱いている方も多い。町の財政状況をどうとらえていますか。

町長

テキサスは、固定資産や償却資産などで若干の収入はありましたが、町の財政収入は多くありませんでした。数年前から、既に財政がテキサス

の大きな影響を受ける時期は過ぎていたと考えています。24年度の決算は、財政調整基金からの繰り入れなく黒字決算を維持しましたが、依存財源に頼る状況に変わりはなく、危機的状況ではないにしても依然として健全財政に向けた取り組みが必要であると考えています。

南端小中学校の今後

問

南端中学校は26年度2名となり、今のところ小学校の入学・編入希望もない。当校での学習や卒業をする意思が生徒と保護者にある以上は廃校を主導すべきはないと考えますが。

教育長

南端地区在住の9名の子どもは現在、豊岡小学校に通学し当校に通学の意思はなく、小規模特認校を維持するにも最低限の人数が必要だと考えています。中学生2名が卒業



学校は地域の活力

することが最低の義務でありますが、小規模特認校制度自体を廃止して、通学している生徒が卒業するまでの間、休校を検討するという考え方もあります。地元を含め、保護者と話し合い、県教委とも十分に協議して、今年度中に一定の方向を出したいと考えています。

※その他、大神地区の太陽光発電についての質問がありました。



池田 淳子 議員
(藤原地区)

問 乳がん、子宮頸がん検診無料クーポンの継続を

答 26年度新規事業として取り組みます

は何人ですか。

健康増進課長

25年度は乳がん918人、子宮頸がん823人です。

問

クーポンでの検診受診率の実績は。

健康増進課長

24年度は乳がんは913人中288人で、31%、子宮頸がんは833人中228人で、27%です。

問

クーポン配布前と配布後の受診率の比較は。

健康増進課長

配布後、乳がんは約1.5倍、子宮頸がんは約1.6倍と



無料クーポン券で受診率向上を

大きく向上しております。

問

無料クーポンを受け取ったものの、受診していない人に繰り返し個別勧奨を行う、がん検診受診勧奨事業に国が2分の1の補助を行います。町も取り組むべきでは。

健康増進課長

ここ数年、受診率がほぼ横ばいの状態になっていますので、26年度の新規事業として取り組んでいきたいと考えています。

虫歯予防にフッ化物の活用を

問

姫島村の改善例を参考に、県教委がフッ化物の活用を呼びかけています。町では取り組む計画はありますか。

学校教育課長

フッ化物洗口の効果は認めますが、薬物であることから、子どもたちの安全を第一に考えて慎重に対応しなければならぬと考えています。正しい濃度に希釈する調剤の問題、保管、管理、誤飲した

場合などの緊急時の対応、最近の子どもにも多く見られるアレルギー体質に関する懸念もあります。取り組むにあたっては、これらの課題解決が必要です。

観光客集客のための施策は

問

町をPRするには、今ブームである、ゆるキャラが効果があると思います。町でもゆるキャラを制作する計画は。

商工観光課長

県内でゆるキャラを持っていないのは6自治体で、12の自治体は持つっており、町外で他の自治体と観光PRをするときにはゆるキャラがあったほうが効果的なPRができると思います。

質問を終えて
観光集客には町民参加のまちづくりを



工藤 健次 議員
(大神地区)

問 総合型地域スポーツクラブの今後は

答 2年後の法人化を目指します

問

日出町総合型地域スポーツクラブ「ひまわりのたね」は、26年度宝くじ助成金が大幅にカットされるそうですが、今後、どのように運営していきますか。

生涯学習課長

現在3年目で、健康で活力あるまちづくり、人づくり、未来づくりなどを趣旨として活動しています。教室の開催だけでなく多くの方々の意見を集約しながら基礎体力の向上など、健康管理を中心として事業を提供していきます。

問

新年度予算の編成中ですが、助成金の減額分はどのように補てんされますか。

生涯学習課長

25年度の助成額360万円

が、26年度は216万円に減額される予定になっています。

現在の水準を維持する方向で、予算要求をしたいと考えています。

問

事務局長が辞める予定になっていますが、今後の体制は。

生涯学習課長

クラブマネージャーの資格



入会募集中「ひまわりのたね」

取得者は、現在10名となっています。事務局体制は、正副2名で今後もその体制を維持していきます。法人化すれば、スポーツ振興センターから3年間延長の助成があるので、2年以内の法人化につながるように検討を進めていきます。

イベント実施時の駐車場

問

2年前と状況は変わってきていますが、駐車場の問題をどのように考えていますか。

商工観光課長

城下かかれい祭り、ザビエルの道ウォーキング大会、産業まつりなどで、駐車場の確

保、イベントの見直し、周辺商業施設との連携について総合的に考えていかなければならないと思っています。今月中に城下かかれい祭り実行委員会を予定しており、その中で具体的に駐車場問題を検討していきます。

日出町環境保全条例

問 メガソーラーの関係を

条例の改正で入れることはできませんか。

政策推進課長

環境保全、公害防止を主にした条例で、第29条の発行行為は、事前に町長との協議が必要になっています。太陽光発電は、都市計画法に該当する開発行為には当たらないという解釈になっており、条例改正ではなく指導要綱を制定したところです。条例制定は、今後検討させていただきます。

質問を終えて

「ひまわりのたね」自立運営の確立を

町民の声



川崎宗行区
川崎地区子ども会
育成会会長
伊東 昭子

子どもに残るふるさとづくり

川崎子ども会育成会の子も達が夏休みの間、地域の人とふれあう場として「川崎つ子公民館クラブ」が平成23年に発足し、今年で3年目を迎えました。

「川崎つ子公民館クラブ」は、夏休みに地区公民館を開放し、一緒に何かしようと週1回、学校、保護者、教職員OB、地区公民館、老人クラブ、民生委員児童委員の方々の協力を得て、「宿題」「楽しみプログラム」(昔の遊び、ふるさと探検、異年齢との体験活動、大学生との交流、人形劇)、「本の読み聞かせ」の3部構成で取り組みました。

また、最終日には地域の人達と力を入れてライス作りや、ソーメン流しをして楽しみました。

参加する子ども達の人数は、学校を通して把握をし、本年度は延べ400人を越え年々増えております。

参加した子ども達の感想は、「宿題はみんなと一緒に楽しく出来てよかったです。町内の偉人や、遺跡の見学が出来てよかったです。地域の人達が優しく見守ってくれて嬉しかったです。一緒に作って食べたカレーライスは大変美味しかったです。」等、子ども達には有意義な夏休

みを過ごしたようでした。

また冬休みには、地元しめ縄作りの名人に子ども向けのしめ縄作りを教えてもらい、作ったしめ縄を子ども達は、嬉しそうにお正月には家の玄関に飾ろうと持って帰りました。

この活動にかかわってくれた人達からは、地域の子も達とふれあう機会ができて大変楽しく過ごさせてもらい、子ども達から元気をもらったと喜んでいただきました。

ここまで来られたのも地域の皆さんの温かいご支援、ご協力の賜と思っております。

当初は、不安でしたが、回を重ねる毎に地域の人と子ども達が一体になっていく姿に喜びを感じこの活動の意義があったと感じています。

私は、これからこの活動を通して、40年間の幼稚園教員勤務の経験を生かし、私を育ててくれた地域に少しでも恩返しができるのではないかと思っております。

これから育っていく子ども達が、このような活動を通して地域の人の優しさや温もりを肌で感じ、何事かにつけふるさとを思い起こし、心豊かな人に育ってほしいと願っております。

3月定例議会の予定

- 6日 議会運営委員会
- 13日 本会議(初日)
- 17日 本会議(議案質疑)
- 一般質問
- 18日 本会議(一般質問)
- 19日~21日 常任委員会(予算)
- 24日 常任委員会(予算)
- 25日 常任委員会(所管)
- 26日 常任委員会(所管)
- 27日 全員協議会
- 特別委員会(議会報)
- 特別委員会(議会改革)
- 3月3日 本会議(最終日)

3月30日 投票開票

投票に行きましょう。



編集後記

最近「夫源病」という病気があると耳にした。夫の言動にストレスを感じて頭痛などの症状がおこるらしい。多くの家庭が共働きとなり、「専業主婦」と呼ばれる女性も少なくなってきたがその分、ご主人が家事に協力をしていない家庭も多いのにな?と少々不思議に思った。社会での女性の地位も確立し、活躍する場面を多く目にするが、家庭にあつては主婦であり母親であるという人もいる。そんな中、夫の協力や優しい一言があれば、ストレスを感じることも少なくなるのだろう。

威厳のある一家のまがちゃぶ台の前に座ったまま、一声発すれば目の前に「お茶」や「ご飯」が出てきていたのは、もう昔の話。そのうち「妻源病」なるものも耳にするのだろうか。

(池田 淳子)

- 編集委員長 森 昭人
- 副委員長 池田 淳子
- 委員 熊谷 健作
- 委員 工藤 健次
- 委員 藤井 博幸
- 委員 土田 亮治